

事務事業名		広報大船渡発行事業		<input type="checkbox"/> 実施計画掲載事業		<input type="checkbox"/> 総合戦略掲載事業	
政策体系	政策名	07 新たな時代を切り拓く行政経営の確立		事業期間		予算科目	
	施策名	22 市民参画の拡充					
	基本事業名	02 広報・広聴活動の充実		<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始 昭和27 年度～) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 【計画期間】 年度～ 年度 ※全体計画欄の総投入量を記入		会計 款 項 目 事業 01 02 01 02 03	
根拠法令				事務事業区分		A 政策事業 B 施設整備 C 施設管理 D 補助金等 E 一般(A～D以外)	
所属	部課名	企画政策部秘書広報課					
	課長名	伊藤晴喜					
	係名	広聴広報係	電話	0192-27-3111			
	担当者	山口香央利	内線	210			

事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)		全体計画(※期間限定複数年度のみ)																									
①事業目的 市民にさまざまな行政情報を提供するため「広報大船渡」を発行する事業。 ②仕事内容 ア. 各課からの記事提供と取材により掲載内容の決定、イ. DTPで印刷原版まで編集・作成、ウ. 印刷製本業務は市内印刷業者に発注、エ. 原則毎月5日と20日(お知らせ版)に発行、必要に応じて特集号を発行、オ. 市内全世帯と国や県の出先機関、学校などに無料配布。 ③事業費の用途 印刷製本費に支出される。 ④その他特記事項 「広報大船渡」には、市政の動きをはじめ、催し物や健康診査・予防接種の日程、休日当番医、ワクチン接種情報など、日常生活に欠かせない情報を掲載しており、全世帯には行政連絡員を通じて配布している。 平成14年度から市ホームページでPDFにより閲覧できるようにしている。		<table border="1"> <tr> <td rowspan="6">総投入量 (千円)</td> <td rowspan="4">事業費 財源内訳</td> <td>国庫支出金</td> <td></td> </tr> <tr> <td>都道府県支出金</td> <td></td> </tr> <tr> <td>地方債</td> <td></td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td></td> </tr> <tr> <td>一般財源</td> <td></td> </tr> <tr> <td>事業費計(A)</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">人件費</td> <td>正規職員従事人数</td> <td></td> </tr> <tr> <td>延べ業務時間</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>人件費計(B)</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td colspan="2">トータルコスト(A)+(B)</td> <td>0</td> </tr> </table>		総投入量 (千円)	事業費 財源内訳	国庫支出金		都道府県支出金		地方債		その他		一般財源		事業費計(A)	0	人件費	正規職員従事人数		延べ業務時間	0	人件費計(B)	0	トータルコスト(A)+(B)		0
総投入量 (千円)	事業費 財源内訳	国庫支出金																									
		都道府県支出金																									
		地方債																									
		その他																									
	一般財源																										
	事業費計(A)	0																									
人件費	正規職員従事人数																										
	延べ業務時間	0																									
	人件費計(B)	0																									
トータルコスト(A)+(B)		0																									

1 現状把握の部(DO)

① 事務事業の目的と指標		⑤ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)									
① 手段(主な活動)		<table border="1"> <tr> <th>名称</th> <th>単位</th> </tr> <tr> <td>ア 定例広報の発行回数</td> <td>回</td> </tr> <tr> <td>イ 特集号の発行回数</td> <td>回</td> </tr> <tr> <td>ウ 平均配布世帯数</td> <td>世帯</td> </tr> </table>		名称	単位	ア 定例広報の発行回数	回	イ 特集号の発行回数	回	ウ 平均配布世帯数	世帯
名称	単位										
ア 定例広報の発行回数	回										
イ 特集号の発行回数	回										
ウ 平均配布世帯数	世帯										
前年度実績(前年度に行った主な活動) 毎月2回【本号(5日)・お知らせ版(20日)】発行した。											
今年度計画(今年度に計画している主な活動) 毎月2回発行する。なお、本号における特集記事として、現在における市の地域課題克服を図り、市民と協働したまちづくりを推進するため、地域課題や解決策等を取り上げる。適宜、新型コロナウイルス感染症により影響を受ける市民・事業者等への支援策をお知らせする。											
② 対象(誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等 市民等 市外等一時避難者等		⑥ 対象指標(対象の大きさを表す指標)									
		<table border="1"> <tr> <th>名称</th> <th>単位</th> </tr> <tr> <td>カ 世帯数</td> <td>世帯</td> </tr> <tr> <td>キ 一時避難者等数</td> <td>人</td> </tr> <tr> <td>ク</td> <td></td> </tr> </table>		名称	単位	カ 世帯数	世帯	キ 一時避難者等数	人	ク	
名称	単位										
カ 世帯数	世帯										
キ 一時避難者等数	人										
ク											
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか) 市民等が知りたい情報、あるいは、市が市民に知ってほしい行政情報等を、市民にタイムリーに知っていただく。		⑦ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)									
		<table border="1"> <tr> <th>名称</th> <th>単位</th> </tr> <tr> <td>サ 市民意識調査結果(設問: 広報などにより行政情報が提供されているか)</td> <td>%</td> </tr> <tr> <td>シ</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ス</td> <td></td> </tr> </table>		名称	単位	サ 市民意識調査結果(設問: 広報などにより行政情報が提供されているか)	%	シ		ス	
名称	単位										
サ 市民意識調査結果(設問: 広報などにより行政情報が提供されているか)	%										
シ											
ス											
④ 結果(基本事業の意図: 上位の基本事業にどのように貢献するのか) 行政情報の市民との共有により、市民参加の市政を推進する。											

② 総事業費・指標等の推移									
		年度	2年度(実績)	3年度(実績)	4年度(目標)	5年度(目標)	6年度(目標)	7年度(目標)	
投入量	事業費 財源内訳	国庫支出金	千円						
		都道府県支出金	千円						
		地方債	千円						
		その他	千円						
		一般財源	千円	12,924	11,729	13,285	11,569	11,222	9,590
	事業費計(A)	千円	12,924	11,729	13,285	11,569	11,222	9,590	
	人件費	正規職員従事人数	人	2	2	2	2	2	2
		延べ業務時間	時間	2,900	2,900	2,900	2,900	2,900	2,900
		人件費計(B)	千円	11,600	11,600	11,600	11,600	11,600	11,600
		トータルコスト(A)+(B)	千円	24,524	23,329	24,885	23,169	22,822	21,190
⑤ 活動指標		ア	回	24	24	24	24	24	24
	イ	回	1	0	1	0	0	0	
	ウ	世帯	14,862	14,777	14,707	14,637	14,567	14,497	
⑥ 対象指標	カ	世帯	14,862	14,777	14,707	14,637	14,567	14,497	
	キ	人	-	-					
	ク								
⑦ 成果指標	サ	%	52.6	55.5	57.5	60.0	62.5	65.0	
	シ								
	ス								

事務事業ID	0366	事務事業名	広報大船渡発行事業
--------	------	-------	-----------

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等	
① この事務事業を開始したきっかけは何か？いつ頃どんな経緯で開始されたのか？	昭和27年の市制施行と同時に発行している。
② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)は、開始時期あるいは後期基本計画策定時と比べてどう変わったのか？	平成14年度から市ホームページでも閲覧できるようになった。 過去には、月3回発行していた時期もあった。 以前は、原版作成は印刷業者で行っていたが、平成14年度からDTPを導入、パソコンにより原版作成まで行っている。DTPの導入は経費削減に結びついている。
③ この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか？	読み手にとってタイムリーで、より見やすく分かりやすい紙面づくりの工夫をしてほしい。

2 評価の部(SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由】 この事務事業の目的は当市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？ 行政情報の市民との共有により、施策を市民に理解していただき、結果として市民の市政参加の推進に結びついている。
	② 公共関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由】 なぜこの事業を当市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？ 行政情報を市民に提供することは市の義務であり、妥当である。
	③ 対象・意図の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由】 対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？ 「広報大船渡」で伝えている情報は、全市民が公平に知るべきものであり、現在、全世帯に配布し、全市民が閲覧できる環境となっており、適切である。
有効性 評価	④ 成果の向上余地	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】 成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？ より市民が読みやすいような紙面づくりなど工夫の余地がある。また、市政課題等について、時期にあった掲載に努め、市民理解と協働のまちづくりを進める必要がある。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響	<input type="checkbox"/> 影響無 ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 ⇒【その内容】 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？ 市民に行政情報を提供できないと、市民との行政情報の共有化が図られず、市民参加の市政運営が図られない。
効率性 評価	⑥ 事業費の削減余地	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など) SNS等の利用による情報発信方法の拡充を視野に、広報紙のあり方を検討する。
	⑦ 人件費(延べ業務時間)の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずにより正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど) DTP方式導入により原版作成(最終工程までパソコンで行っている)していることから、これ以上所要時間を削減することは困難である。
公平性 評価	⑧ 受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？ 該当なし。

3 今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN)

(1) 改革改善の方向性	(2) 改革・改善による期待成果																							
1 現状維持 ② 改革改善(縮小・統合含む) → 3 終了・廃止・休止	左記(1)の改革改善を実施した場合に期待できる成果について該当欄に「●」を記入する。 (終了・廃止・休止の場合は記入不要)																							
(3) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策又は特記事項等	<table border="1"> <tr> <td colspan="2"></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td>●</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上	●			維持			×	低下		×	×
		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上	●																						
	維持			×																				
	低下		×	×																				
LINEの活用などSNSでの情報発信にシフトするなど、広報紙のあり方を検討する。 行政情報の取捨選択を行い、ページ数の削減を検討する。 広報紙の発行回数等の見直しにあたっては、関係部署との調整や行政情報の発信方法など市民目線で検討する。																								

4 課長等意見

(1) 今後の方向性	(2) 全体総括・今後の改革改善の内容
1 現状維持 ② 改革改善(縮小・統合含む) 3 終了・廃止・休止	広報は、市民の行政情報収集の拠り所であることから、市民が様々な形で行政情報を得られるよう、既存の紙の広報を生かしながらSNSを活用し、適時適切な情報の発信に努める必要がある。